

4. 南関東（地域別調査機関：（株）日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (南関東)	良くなる	都市型ホテル（スタッフ）	・お盆が過ぎて、新郎新婦の帰省も終わり、家に帰って相談したうえで来館が増えるため、9、10月は景気が上がる。
		観光名所（職員）	・2、3か月後になると、観光地は秋のトップシーズンになる。紅葉の関係でかなり客でにぎわうと期待している。
		住宅販売会社（従業員）	・消費税の増税でこれから秋口にかけて活発に動くと思う。9、10月は取りこぼしのないように営業をかけていければ、だいぶ良い数字が見込める。
	やや良くなる	商店街（代表者）	・希望的観測も入るが、暑くて人が動かなかった夏の反動がある。イベントの仕込みがとてもスムーズにっており、立続けてあったテレビ取材のオンエアが9月半ばから幾つかあるため、集客が見込まれる。
一般小売店〔文具〕 （販売企画担当）		・今月はあまり物件、案件などがなかったが、この後、一応いくつかあり、たまたま今月が谷間だったのかというような感はある。ただ全体で2割近く落ちたというのはなかなか大変なことである。	
コンビニ（商品開発担当）		・残暑の影響が、好機に転じる可能性がある。	
衣料品専門店（店長）		・気温の低下により秋物の需要が高まり、今月と比べ販売量、スーツなどの袖物の需要が高まっていく。	
家電量販店（営業統括）		・秋商戦に突入していくタイミングであることと、9月末から中国の大型連休が始まること、大規模な国際会議が行われるなど、外国からの観光客が多数東京を訪れることから、外国人観光客への販売が好調になる可能性がある。	
乗用車販売店（営業担当）		・9月は業界では半期の決算を迎えるため、希望も加えて少しは良くなる。	
乗用車販売店（販売担当）		・東日本大震災の復興需要が現実的に動き出したため、やはりダンプカーの需要が随分増えてきており、将来的にはやや景気が良くなる。また選挙も近付くと景気も結構良くなるため、物流が増えて全体的な底上げになる。	
一般レストラン（経営者）		・8月が一番悪いため、2、3か月先の景気は必ず良くなると思う。今までの例から見ても、人の動きも激しくなるため売上は8月よりは伸び、ケータリングもかなり復活してくる。	
都市型ホテル（スタッフ）		・総選挙がいつになるかによってだが、11月であればそれ以降、良くなっていく。	
旅行代理店（経営者）		・秋の行楽シーズンが来るため、徐々に問い合わせ等が入ってきている。これから先は良くなることを期待している。	
旅行代理店（従業員）		・本格的な行楽シーズンを迎え、国内団体旅行の受注件数が増えてきており、昨年自粛された大型社員旅行の件数も増えてきている。	
旅行代理店（支店長）		・2、3か月後は当業界では秋の旅行シーズンであり、毎年のことだが非常に最盛期を迎える。今年は東京スカイツリー開業の年ということで大型団体の申込が多いため、今月と比べると良くなる。	
タクシー運転手		・9月はロンドンパラリンピックがあり、また残暑が長引くようであるため、消費税増税になるまでは景気はしばらく悪くならない。	
通信会社（社員）		・下期からは販売促進を含め、新たな展開をしていく予定であり、動きが出てくる。	
通信会社（管理担当）		・消費税増税法案により、景気が多少動くのではないかと思う。また、年末商戦に入ってくるので、消費動向が活発化する。	
ゴルフ場（支配人）		・年内の予約状況は、引き続き順調に推移している。	
その他レジャー施設 〔ボウリング場〕（支配人）		・東日本大震災により、昨夏は身近で屋内のレジャーであるボウリング場は特需のような状態であったが、今夏は反動を受け、前年比で悪い業績となっている。しかし、9月で一巡するため、10月以降は来客数、販売量ともに前年比で良くなっていく。	
その他レジャー施設 （経営企画担当）		・年末に向けて、催事の開催予約が増加している。	
設計事務所（職員）		・プロポーザル、入札いづれも案件が増加しており、受注機会のチャンスが増える。	
住宅販売会社（従業員）		・今後、さらに消費税増税前の駆け込み契約は増加すると見込まれるが、住宅関連については消費税増税の対象から外すよう強く働きかける動きもあり、顧客に対してのセールストークがはっきりしない。	

	その他住宅〔住宅資材〕（営業）	・これから消費税増税前の駆け込み需要が見込まれるため、期待を込めてやや良くなる。
変わらない	商店街（代表者）	・季節変動を除けば、劇的に現状が回復する素因が見当たらない。
	商店街（代表者）	・当店では振袖の契約が早めに入りつつあり、前倒しになるかもしれないが、それがあつて、なんとか営業が成り立っている。売上の的には大変厳しい状況である。
	商店街（代表者）	・今の日本では、良くなることは考えられない。中国、韓国、ロシアを見ても、まじめに話をしようという気は各国が持っていないようである。国を良くするには、そういったところを変えていかないと無理である。
	商店街（代表者）	・今後、消費税増税、電気料金の値上げで、小売業は非常に苦しい状況になっていく。その反面、東北の特需が少しずつこちらにも回ってくると思うため、それほどは変わらない。
	一般小売店〔家電〕（経理担当）	・いろいろなキャンペーンがあるため、積極的に動くつもりである。ただ、単価の大きな商品ではないため全体的な金額となると厳しいものがある。
	一般小売店〔文房具〕（経営者）	・近隣で同業者がないことが強みなのでそれほどダウンすることはないと考えているが、やはり全体的には落ちてきている。
	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・今月は暑さで、非常に人々は出てこなかったため、良くなかった。2、3か月後も、暑さが終わっても景気は回復しないため、変わらない。
	一般小売店〔家電〕（経営者）	・世界的な経済の動きも、国内の政治関係も、今後あまり期待できそうもないため、変わらない。
	一般小売店〔印章〕（経営者）	・国として非常に不安定な立場にいるように感じる。景気低迷や景気上昇などというより、目や耳から入る画像やニュースなど、一般の消費者、国民としては、非常に不安な環境が多く感じる。非常に切羽詰まっており、消費まで回らないようである。
	百貨店（売場主任）	・まだまだ残暑が長引く予報のため、秋冬物の動きが鈍くなると予想される。
	百貨店（総務担当）	・特に消費が促されるような要因がなく、苦戦が続く。いろいろな施策をもって対応していかなければならない。
	百貨店（広報担当）	・直近では株価が回復傾向にあり、当店としても大規模改装が終わってグランドオープンとなり、販売体制が整うことから、来月は売上も来客数も盛り返す。しかし、その先は政権の先行きが不透明なことや、近隣諸国との経済外交のあつれきも懸念され、売上動向の見通しは非常に不透明である。
	百貨店（営業担当）	・前半から夏らしい天候が続き、婦人、紳士、子どもの夏物衣料品や帽子、サンダル、サングラス等の夏物商材が好調に推移し、前年を超えている。株価や為替も比較的安定しており、景気に好影響をもたらしている。
	百貨店（営業担当）	・商品カテゴリーごとの好不調は考えられるが、全体的な消費環境の変化に大きく寄与するものではなく、どちらかというところ、じり貧状態である。恒常的な穀物高騰による商品代への転化や消費税増税に伴う生活防衛意識等、ネガティブな状況下であり、しばらくはこの状態が続いていく。
	百貨店（営業担当）	・政治不安が強く、景気回復に対する策が何も具体的ではないため、消費行動は活発にはならない。
	百貨店（営業担当）	・消費マインドの改善はみられるものの、雇用、所得環境の改善がみられない限り、消費の回復は難しい。
	百貨店（販売管理担当）	・宝飾や時計など高額品の動きが継続して好調だが、消費税増税や社会保障の先行き不透明感など、購買意欲を阻害する要素が懸念される。
百貨店（店長）	・東日本大震災から1年以上経過して、客の変化が一段落した。今後は期待できるが、消費税のこともあり、判断が難しい。	
百貨店（副店長）	・円高、株安に伴う消費不安や、電力料金値上げに伴い、企業収益を圧迫するため、変わらない。	
百貨店（営業企画担当）	・天候にも左右されるが、暖冬による影響がなければ堅調に推移する。	
スーパー（経営者）	・8月に入ってなかなか良くならない。当社では競合店が出てきており、想定よりは影響していないが、やはり若干影響がある。そういう意味で悪い状態がこれからも続いていく。	
スーパー（店長）	・3か月後の売上予測は、今と変わらない気がする。当店を取り巻く環境は、スーパーが点在しており、いわゆるオーバーストアの状態である。そのなかで、予算あるいは前年をクリアするのは非常に難しく、3か月後の景気については、変わらない。	

スーパー（店長）	・世間の節約ムードを払しょくするような要素は見られず、当分厳しい状態は続く。
スーパー（店長）	・当店のようなGMS（総合小売業）で日々買物をする客にとっては、最近、国内では消費税関連法案や解散総選挙など、国外でも中国、韓国、北朝鮮等の周辺各国の不安がある。そのため、将来の不安から貯蓄をし、できるだけお金を使わないという感じが見られ、この先も今の悪い状態は変わらない。
スーパー（店員）	・商品の購買意欲はあるが、量的にも単価もかなり下がっている。欲しいものは買うが少量で、同一商品であれば単価の安いほうを選ぶ傾向がある。
スーパー（総務担当）	・今年の初めからずっと、同じような傾向が続いている。客数が伸び悩む、単価が上がらない、1人当たりの買上点数も増えないといったなかで、特に購買意欲を上げるような話題性や見通しが全くない。売上は今の状況が継続し、昨年を若干下回るような形で推移していく。
スーパー（営業担当）	・円高、株安の状況が相変わらず続いており、将来に対する不安も払しょくされていないため、お金の流出を抑える傾向がありそうである。
スーパー（仕入担当）	・このまま来店頻度の減少による客数減が続きそうである。1回の買物の客単価も上がらず、客数、客単価共に減少し、厳しい数字が続きそうである。
コンビニ（経営者）	・元来周りには失業者が非常に多い。その失業者が職についたとしても、なかなか買物ができない。そういった状態が続くと、景気は上向くどころか、かえって非常に下がるのではないかと心配している。
コンビニ（経営者）	・本部全体の売上高が前年比99%と聞き、この好天候においても厳しさを感じる。
コンビニ（経営者）	・近隣に、スーパー、コンビニ、店舗が増加しているため、変わらない。
コンビニ（経営者）	・次々とセールを打ち続けているが、同業他社も同様のセールを仕掛けており、売上、客数共に現状維持が精一杯な状況である。
コンビニ（経営者）	・ターミナル駅に近い当店では、駅周辺の再開発が大分進み、工事も終わったことで、客が多く来てくれるような環境になってきている。これからはしばらくの間は減ることがなく、利用してくれそうである。
コンビニ（経営者）	・政局不安や各国とのあつれきといった問題があつて、将来的には大分悪くなるかと思うが、この2、3か月の間は、現状とあまり変わらない。
コンビニ（エリア担当）	・たばこ客が離反したまま推移するのではないかと思う。
コンビニ（店長）	・競合店の影響が依然として続いている。
コンビニ（商品開発担当）	・客数の増加につながるようなニュースもなく、減少傾向が続くことが予想される。
衣料品専門店（経営者）	・行楽の季節を迎え外出が増える時期だが、電気料金、医療費、介護保険、各種税金などの値上げで、所得、特に年金収入が減ってる人が多く、自由に使えるお金が少なくなっている。
衣料品専門店（経営者）	・夏物は天候が非常に味方になり、大変良い状況であったが、秋からはあまり良い情勢ではない。状況が天気次第でもあるが、あまり期待はしていない。
衣料品専門店（店長）	・増税や社会保障関係の法案がすぐには実施されない雰囲気があるため、先月よりは買い控え傾向が緩んできていると感じる。しかし、良くなっているという程ではなく、前年並みでいければ良い。
家電量販店（統括）	・需要の先取りによる後遺症が、いまだ修正されない。家電業界の先行きは非常に不透明である。家電以外のカテゴリーを模索しながらの年度となりそうである。
乗用車販売店（経営者）	・整備は順調に入っているが、販売はあまり芳しくない。どちらかというと整備で精一杯であり、販売によって利益が出るわけだが、決算ではあまり良い結果は出ないと思う。赤字にはならないが、ぎりぎりの状況である。
乗用車販売店（販売担当）	・エコカー補助金の締切も近いせいも、個人ユーザーの販売が少し落ち込んでいる。法人ユーザーの業者に関しては、あまり落ち込んでいないため、変わらない。
乗用車販売店（総務担当）	・新型車が発表、発売されるなか、通常はその勢いで登録に結びつくが、電気料金の値上げの影響で足元をすくわれ、今後の景気としては伸びないと判断せざるを得ない。

その他小売 [ゲーム] (開発戦略担当)	・しばらくは現在の好調は続くと考えられる。
その他小売 [ショッピングセンター] (統括)	・消費税増税はまだ1年半先であり、特別、上下に振れるような要素がない。
高級レストラン (店長)	・宴会予約の推移から判断して、変わらない。
高級レストラン (支配人)	・前年同時期と比べると宴会が低調である。特に個人より法人の利用が顕著である。この先の受注状況も同様である。
一般レストラン (経営者)	・消費税の増税決定の実感が、客のなかでは実施されるまでまだないようであり、その反動がある。
一般レストラン (経営者)	・3か月後もあまり変わらず、今と社会情勢が変わらないとデフレ脱却はしないと。政治がまず最優先で安定し、とにかくデフレを脱却しないことには経済は良くならない。
一般レストラン (経営者)	・消費税増税、ユーロ、ドル安、円高、原発、政治に対しての不信等、まだまだ消費者の心は冷めたままであり、景気回復はまだ先の話である。
一般レストラン (経営者)	・小麦価格の高騰等いろいろあるが、相変わらず円高のため、あまり仕入価格は上がっていない。消費も上がったりがったりというよりは、今後しばらくはこのように動きそうである。
一般レストラン (店長)	・これからプラスになるという材料が見当たらないため、2、3か月先も今と変わらない。今、底が割れてしまったような状況で、どこまで底が割れてしまうのか心配している。
都市型ホテル (スタッフ)	・政局の不安定さ、消費税の問題、引き続き円高等、そういった不確定要素あるいは不安な要素があるため、どちらにいくか分からない。
都市型ホテル (スタッフ)	・結婚披露宴の予約状況が全く伸びず、来客数も増えてこない。いろいろイベントを打っているが、非常に厳しい状態が続いている。今後も新しい商品などを入れても、あまり効果がないような状況が続く。
都市型ホテル (統括)	・政界の混迷が続く限り、景気の低迷は続く。
タクシー運転手	・いずれにしても今、不安が益々膨らんで、不安だらけになっている。国はどちらの方に向いているのか全く見えない。
タクシー運転手	・今一つ客の動きが読めない。消費税増税、電気料金の値上げ、尖閣諸島、竹島と明るいニュースがないなか、天候や涼しい車内の提供だけで仕事ができているようでは先が不安である。
タクシー (団体役員)	・政治の空転が、個人消費意欲の低下を招いている気がする。消費税増税や社会保障制度等、先行きの不安が解消されない限り、利用客が増える要素はない。
通信会社 (経営者)	・需要が今一つのため、テレビ、インターネット、電話の獲得目標達成を営業力強化で何とか行っている。10月後半から新商品の販売が開始予定のため、新規需要開拓を見込んでいる。
通信会社 (経営者)	・ケーブルテレビの会社だが、オリンピックでもテレビ加入が増えなかったが、同じようにオリンピックが終わっても、そうそう加入が減るとも思わない。
通信会社 (営業担当)	・消費税も増税されるため、家計の先行きの不安から客は消費を控えている。
通信会社 (営業担当)	・引き続き大手他社、他サービスとの競合が激しく、キャンペーン合戦等により、一進一退となる見込みである。
通信会社 (局長)	・客の使うトータル金額は、現状の景気では大きく変わらないと思えることと、放送通信業界から捉えると、携帯端末系の伸びと、それに連動するソフトが購買対象として伸びているようで、暫くはその傾向が続く。
通信会社 (営業担当)	・景気回復につながる材料に乏しい。むしろ増税や電気料金値上げに伴う物価の上昇など、マイナス材料ばかりが目につく。期待感を込めての現状維持である。
通信会社 (局長)	・セミリタイア世代の消費が著しく悪い。携帯電話のプランなど、30代も単価の安い商品を購入する傾向が強くなっている。
パチンコ店 (経営者)	・当商売では、人気機種の発売に大きな関係がある。この先2、3か月ほどは特別に注目される機械がそれほど出ないため、現状維持というところである。
競馬場 (職員)	・競馬場への来場者数は減少傾向にある。在宅投票の比重が高くなっており、小額投資のレジャーへ移行している。

	その他レジャー施設 〔スポーツ施設〕（支配人）	・景気の先行き感が全く見えてこない。
	その他レジャー施設 〔アミューズメント〕 （店長）	・客数が伸びる要素が当面ない。客単価的にも市場の伸びが見られない状況のまま停滞している。
	その他サービス〔立体 駐車場〕（経営者）	・来客数が増える感じもないし、減りようもない。
	その他サービス〔保険 代理店〕（経営者）	・顧客数の増加は見込めないため、新製品等、目先を変えて単価増を図り、当店の努力で何とか売上を増やしていく。
	設計事務所（経営者）	・建築業界の動きとしては東北の職人不足の増加によって、混乱をきたしている。しかし設計においては、当社では変わりなく、指名が多く民間の動きも活発になっている。これから先も変わらず、上向きの状態が見える。
	設計事務所（所長）	・耐震改修がもうしばらく続く。仕事はたくさんあるが、人材を増やすことはできないため、非常に困惑をしている。
	設計事務所（所長）	・消費税でどう動くか分からないが、一部の富裕層を除き、一般相手の仕事では良い方向へ向いていない。
	住宅販売会社（従業員）	・契約が落ちて受注残が減少しているため、この先の状況は良くない。今後は消費税増税による駆け込み受注がいつから始まるかによって、状況が変わる。
	住宅販売会社（従業員）	・例年、年末に向かって客の動きが出てくるのだが、すでに、消費税の増税前に動きたいという客の来場が増えている。客の様子から景気は良い状況で変わらない。
	住宅販売会社（従業員）	・契約数は減っているが、来場者数は変わらないため、景気的には同じである。
やや悪くなる	一般小売店〔和菓子〕 （経営者）	・厳しい残暑がまだまだ続きそうであるため、水不足などによる作物の影響も考えると、消費は大分鈍くなっていきそうである。電気料金や小麦の価格などの値上がりもあり、厳しい状態が続く。
	一般小売店〔祭用品〕 （経営者）	・祭事シーズンが終わると、一気に落ち込む傾向にある。
	一般小売店〔家具〕 （経営者）	・来客数が極端に減少しており、販売も非常に難しい状況である。これからも徐々に悪くなるだろう。
	一般小売店〔茶〕（営業担当）	・今年も節電などの影響で、自動給茶機の返却や原料購入の停止などで、毎月の売上が下降している。原料を停止し、浄水器を通した冷水のみを飲んでいたりと客側もコスト削減に徹しているようである。長期間このような状態が続くと、全体の景気は、ますますの低迷が懸念される。
	百貨店（営業担当）	・電気料金等も上がり、また政治不安など、上がる環境にはない。天候も秋が遅く、厳しい。
	スーパー（ネット宅配担当）	・競合店の出店に伴う利益率の低下と、消費税の増税決定による生活防衛意識の高まりから、節約、儉約志向が更に高まりそうである。
	コンビニ（経営者）	・この先どうなるか分からないなかで、客の財布は非常に絞られており、非常に厳しい。
	コンビニ（経営者）	・8月になって、少し販売量が減少してきている。
	衣料品専門店（経営者）	・未だデフレ脱却ならず、また消費税の増税が控えている。国内情勢や国際情勢においても不透明な部分があり、なかなか一般の消費の動向がつかめない。
	衣料品専門店（経営者）	・猛暑が続き、消費者の衣料に対する購買意欲の低下で、今後も厳しい状態が続く。
	衣料品専門店（経営者）	・残暑の不安で、的確な商材の確保が見えにくい。昨年同様に秋物商材の盛り上がりには欠けると今期も苦しくなる。夏物、冬物の二季になりつつある。
	衣料品専門店（営業担当）	・今の日本は大きい所だけを助け、中小企業は蚊帳の外という印象がある。物販が本当に厳しく、戦後から時代の流れに沿ってやってきた当店も、この先真っ暗という状況で何も見えない。
	衣料品専門店（営業担当）	・景気が良くなって、今後も大変である。
	乗用車販売店（経営者）	・東日本大地震から復興に向けての意欲が落ちてきていると感じる。消費税増税も購買意欲が減少する要因のようである。
乗用車販売店（渉外担当）	・エコカー減税は2013年3月まで継続だが、エコカー補助金が9月中旬には終了しそうであり、販売台数には影響する。楽観視はしていないが、以前のように25～30%減まで落ち込むことはないと思う。環境に優しく、燃費や維持費等メリットのあるハイブリット車や新型のコンパクトカーを核に、客のニーズに合った新車提案を続けていく。	

住関連専門店 (店長)	・電気料金の値上げや消費税増税法案などのため、やや悪くなる。												
住関連専門店 (統括)	・現在、政局と消費税とまだまだ景気を左右する問題が残っており、伸び悩むのは必至だろう。												
その他専門店 [ドラッグストア] (経営者)	・今年は競合各社が出店を強化してきているため、景気は良くなることはない。そのなかでいかに顧客を作っていくかが重要であり、それがしっかりできていない現状から、より厳しくなる。												
その他小売 [雑貨卸] (経営者)	・政局の混迷が大きく響く。												
その他小売 [ショッピングセンター] (統括)	・今年に入り来客数の増加、レジ客数の減少傾向が継続しており、消費マインドが低調である。												
都市型ホテル (スタッフ)	・消費者はただ単純に料金の安い企画に集まっている様子で、これでは売上は伸びず、景気は良くなるとは思えない。少々高くても価値のあるものに料金を支払っていた上客が、単純に料金の安いものを求める客、ランクが1段下の客に嫌気が差して来なくなると、負のスパイラルに入り抜け出せなくなる。都心の外資系の高級ホテルに流れ出てしまう。												
都市型ホテル (スタッフ)	・全般的に9月の販売落ち込みが大きく、かなり厳しい状況である。10月以降は少し持ち直すのが7～9月のマイナス分をカバーできるほど好調ではなく、通常は繁忙期であるが割引販売をせざるを得ない。マスコミでは景気回復傾向とあるが実感は全くない。												
タクシー運転手	・客の話を聞いても景気が良くなるような話はなく、悪くなる話ばかり聞こえる。今月と同じようにあまり期待できない。												
通信会社 (経営者)	・競合他社の攻勢で、一層厳しい環境になる。												
通信会社 (営業担当)	・新商品の投入がないうちは、しばらく低迷した状況は変わらない。												
通信会社 (管理担当)	・消費税増税決定の影響もあり、上昇に転じる要因が見当たらない。												
美容室 (経営者)	・残暑が厳しいと、来客が少ない。												
その他サービス [学習塾] (経営者)	・地震等の影響、または今後の地震想定等の発表によって、遠くからの生徒が辞めていく傾向は相変わらずである。皆、近くの塾に移るといふことで、はっきり言っている人もいる。生徒の減少がこの先も見込まれるため、景気が悪くなる。												
その他サービス [福祉輸送] (経営者)	・今年4月からの景気は、前年から繰り越した在庫、受注残が徐々に消化されている状況である。売上自体は納車と同時に上がるため、上期の成績は前年に対して大幅にプラスにはなっている。しかし、この間に受注がどのくらいできるか、また、それが現実に登録されて景気や会社の業績に結び付けていくにしたがって受注残が少なくなっていくということを考えると、下期は新車効果が出ない限りはあまり多くは望めなくなってきた。特に前年の後期は車の供給があったので、前年に対する伸びも頭打ちになる。												
設計事務所 (所長)	・仕事量が非常に少なくなっていることは否めず、そのなかで価格競争は安止まりの傾向にある。この先も仕事が増えていく要素は一向に見つからない。とにかく独自でいろいろなことを開発しながらやっていかなくては生存できないのではないかと毎日感じている。												
悪くなる	<table border="1"> <tr> <td>商店街 (代表者)</td> <td>・当地域は石油精製及び石油化学プラントの工場地帯だが、ここ数年落ち込みが激しい。利益の内部留保に努めており、消耗品に関しては本社一括購入が進み、地元への還元が少なくなってきた。設備の老朽化で定期修理の時は、多少活気づくが一瞬のことであり、新規設備は海外にシフトし、先行きは暗い。</td> </tr> <tr> <td>一般小売店 [家電] (経営者)</td> <td>・何しろ良い話を聞くことができないと客から聞いている。今後どのようなようになっていくかを皆不安がっており、消費税増税の件もあるため、とにかく控えている状態である。</td> </tr> <tr> <td>一般小売店 [茶] (経営者)</td> <td>・今年は猛暑日が7月下旬から8月いっぱい続き、買い物にも大きく影響している。店の売上も前年割れをしている。</td> </tr> <tr> <td>一般小売店 [家電] (経理担当)</td> <td>・家電製品で主力で売れる商品がなく、先行き不安である。</td> </tr> <tr> <td>一般小売店 [食料雑貨] (経営者)</td> <td>・客の流れが全く変わってしまい、来客数の減少が止まらない。</td> </tr> <tr> <td>一般小売店 [靴・履物] (店長)</td> <td>・一般の人の所得が上がるようなこともないだろうし、さらに消費税の問題などいろいろある。良くなる要因はなく、悪くなるのが心配である。</td> </tr> </table>	商店街 (代表者)	・当地域は石油精製及び石油化学プラントの工場地帯だが、ここ数年落ち込みが激しい。利益の内部留保に努めており、消耗品に関しては本社一括購入が進み、地元への還元が少なくなってきた。設備の老朽化で定期修理の時は、多少活気づくが一瞬のことであり、新規設備は海外にシフトし、先行きは暗い。	一般小売店 [家電] (経営者)	・何しろ良い話を聞くことができないと客から聞いている。今後どのようなようになっていくかを皆不安がっており、消費税増税の件もあるため、とにかく控えている状態である。	一般小売店 [茶] (経営者)	・今年は猛暑日が7月下旬から8月いっぱい続き、買い物にも大きく影響している。店の売上も前年割れをしている。	一般小売店 [家電] (経理担当)	・家電製品で主力で売れる商品がなく、先行き不安である。	一般小売店 [食料雑貨] (経営者)	・客の流れが全く変わってしまい、来客数の減少が止まらない。	一般小売店 [靴・履物] (店長)	・一般の人の所得が上がるようなこともないだろうし、さらに消費税の問題などいろいろある。良くなる要因はなく、悪くなるのが心配である。
商店街 (代表者)	・当地域は石油精製及び石油化学プラントの工場地帯だが、ここ数年落ち込みが激しい。利益の内部留保に努めており、消耗品に関しては本社一括購入が進み、地元への還元が少なくなってきた。設備の老朽化で定期修理の時は、多少活気づくが一瞬のことであり、新規設備は海外にシフトし、先行きは暗い。												
一般小売店 [家電] (経営者)	・何しろ良い話を聞くことができないと客から聞いている。今後どのようなようになっていくかを皆不安がっており、消費税増税の件もあるため、とにかく控えている状態である。												
一般小売店 [茶] (経営者)	・今年は猛暑日が7月下旬から8月いっぱい続き、買い物にも大きく影響している。店の売上も前年割れをしている。												
一般小売店 [家電] (経理担当)	・家電製品で主力で売れる商品がなく、先行き不安である。												
一般小売店 [食料雑貨] (経営者)	・客の流れが全く変わってしまい、来客数の減少が止まらない。												
一般小売店 [靴・履物] (店長)	・一般の人の所得が上がるようなこともないだろうし、さらに消費税の問題などいろいろある。良くなる要因はなく、悪くなるのが心配である。												

		家電量販店（店員）	・今後も家電量販店における極度な値引きやポイント還元が続き、インターネット販売の売価を含めて流通の悪循環が続く限り、日本の大手企業が危険にさらされる可能性大である。
		乗用車販売店（店長）	・新型車の効果もなく、エコカー補助金効果もあまりない。また政局の不安、消費税増税、鉄鋼の値崩れ、ガソリンの卸値の上昇、良くなる要素がない。
		その他小売〔生鮮魚介卸売〕（営業）	・日本の今の状況に動きがない限り、底なし沼のようにゆっくりとどこまでも沈んでいく気がする。
		遊園地（職員）	・良くなる材料が見当たらない。
		ゴルフ場（従業員）	・結婚式の引き出物のギフトカタログでは、ほとんどが中国製であった。ものづくりの日本に戻ることはできないのだろうか。
		美容室（経営者）	・今年は暑く、また社会状況もあまり良くないため、客が全く出てこなさそうである。
		住宅販売会社（経営者）	・政府が景気対策を後回しにして、政権争いに没頭している。このように国民不在の政府の下では、先の見通しは全く立たずに、ますますデフレ経済からの脱却は遠のくばかりである。
企業動向関連 (南関東)	良くなる やや良くなる	—	—
		出版・印刷・同関連産業（経営者）	・10～12月までは、当社固有の季節的要因により、需要の増加が見込める。
		輸送業（経営者）	・9月以降、新規の業務依頼が出ており、増収につながるものと期待している。
		金融業（渉外・預金担当）	・商店では地域振興券の活用による売上増加が見込まれ、期待が持てる。
		不動産業（従業員）	・消費税増税の影響のためか、住宅用地の取得問い合わせが増えてきている。
		その他サービス業〔警備〕（経営者）	・猛暑が過ぎれば、警備員の応募が増えてきて、売上につながる。
	変わらない	食料品製造業（経営者）	・東日本大震災のごたごたがあり、それによって景気的には良い部分も悪い部分もあったが、落ち着いてきたため、そのまま行く。
		食料品製造業（経営者）	・涼しくなって秋の味覚が出回る時期だが、購買意欲が出るか分からない。
		繊維工業（従業員）	・相変わらず、消費者の低調な購買意欲が続いており、当業界への発注量も低調な取引が続いている。
		出版・印刷・同関連産業（総務担当）	・年末前ということで、大きく経費を掛ける時期ではないため、発注量が増えない。
		化学工業（従業員）	・例年、今の時期は秋口の注文があるが、今年に至ってはそのような話は一切なく、景気が良くなることはない。
		プラスチック製品製造業（経営者）	・3か月後くらいには総選挙があって新しい政権ができていくかもしれないが、まだ先行き不透明なところがある。今後もまだおぼつかないところがあり、景気はまだそう変わらない。
		金属製品製造業（経営者）	・同じ部品が小分けで注文されるケースが多くなり、生産効率が悪く、競合も多いため価格に反映できない。
		一般機械器具製造業（経営者）	・少しずつ良くなっている気配はあるが、極端な動きはないため、変わらない。
		一般機械器具製造業（経営者）	・現在、中国、ヨーロッパ向けの物が全く出ない。さらに、今まで加工をしていたものが、加工先が外国へ変わってしまうということが立て続けに起きており、これでは、もうやっていけない。
		電気機械器具製造業（経営者）	・世界経済を見ても良くなりそうな要素が見当たらず、あとは当社の新商品が売れるかどうかにかかっており、自助努力しかない。
		電気機械器具製造業（経営者）	・3か月先は暮れに入るが、需要が増えるとは考えられない。選挙がらみの経済政策で、とても景気が良くなる状況には至っていない。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	・毎年のことだが今年も8日くらいあった夏休みのうち、休みと関係なしに材料が入ってきたため、3日くらいしか休めなかった。それでも昔の80%くらいだが、このままでいいので続いて欲しい。9月が分かれ道ではないかと思っており、9月が大丈夫であれば暮れまでいくし、9月が悪いようだと少し悪くなっていく。
		その他製造業〔靴〕（経営者）	・特別に良くなるという様相や特別に悪くなるという話などは出ていないため、現在の状況が当分続くようである。
		その他製造業〔化粧品〕（営業担当）	・秋にかけて悪くなる材料は少ないものの、業界の動きが計りづらい状況である。

建設業（営業担当）	・消費税増税法案が影響してきており、顧客との不動産の動きや、設備投資の話が活発になってきている。	
建設業（経理担当）	・この先、受注に結びつくような営業案件が見当たらない。消費税率アップで、計画していた人たちが多少は動き始めるだろうが、根本的にこの周辺の景気は沈んでいる。公共工事頼みである。	
輸送業（経営者）	・良くなるという確約はないが、このままの状況が続いてくれればいい。荷主からは、先にいくらか仕事が入ってきているということなので、その分こちらにもおこぼれがありそうである。	
輸送業（経営者）	・経済は生き物であるため、なかなか判断が難しいところである。ただ消費税が上がることになっているため、そちらの絡みもあって、減少または変わらない状況が続くそうである。	
輸送業（営業担当）	・来月から新規開拓先の新業務が始まるが、どれだけ売上に寄与するかは現時点では未知数である。	
金融業（統括）	・2、3か月の短期間では、大きな変化がない。	
金融業（従業員）	・相変わらずの低金利だが、借入需要が乏しい状況に変化はない。消費税率引上げによる駆け込み需要を期待する声はあまり聞かれず、総じて企業は慎重な見方をしているようである。	
金融業（支店長）	・米国は選挙を控え景気回復の期待があるものの、依然回復とはいえ、欧州も低調である。国内も政局不安から足踏み状態であり、しばらくこのような状態が続く。	
不動産業（経営者）	・空き室も相当あり、好転の兆しもない。	
不動産業（総務担当）	・オフィステナントは入退きの動きが収まった感があるが、商業テナントは特に飲食系店舗で好不調の差が出ており、今後、賃料の滞納が危惧される。	
広告代理店（経営者）	・一応、前年同時期と同程度の受注がありそうな雰囲気は感じられる。できれば微増でもいいので、上向きの兆候を感じられるまでになれば有り難い。	
広告代理店（従業員）	・売上を劇的に上げるほどの受注はなく、また減少させるような事象も見当たらない。	
社会保険労務士	・良くなる要因が見当たらない。	
税理士	・政治は止まったままで国民不在である。目新しい消費の拡大材料は見当たらない。	
経営コンサルタント	・2回の期限延長を行った中小企業金融円滑法の期限が、来年3月に迫っている。対象企業の支援を行った金融機関のOBの話では、政府が考えている事業再生支援程度では、とても混乱は避けられないだろうという。対象企業の母数が大きすぎるし、対象企業の経営行き詰まりの最大要因は、販売不振だからである。販売不振からの脱却は時間がかかる。	
税理士	・アメリカ、新興国、中国の景気の動向によるが、アメリカが悪くて、欧州の信用不安で中国も落ちている。また、日本の政治がもう一つの中心的事項だと思ふ。政治の混迷が、経済などに大きな影響となり、何も手を打たないため、景気をどんどん悪化させていく。	
その他サービス業 [ビルメンテナンス]（経営者）	・新規事業もまだ成果が出てこない状況で、既存事業の進展もない。進展しなくても後退しなければよしとし、現状維持の状態である。	
その他サービス業 [映像制作]（経営者）	・秋に向けて仕事の予定が入ってはいるが、1制作当たりの単価がとも下がっているため、変わらない。	
その他サービス業 [情報サービス]（従業員）	・インターネット対応のマンションにグレードアップするために一定の設備投資が必要な場合は、なかなか受注に結び付いていかない。	
やや悪くなる	出版・印刷・同関連産業（所長）	・年末に向けそろそろ案件の引き合いが出てくる時期だが、現状全くそのような話がなく、カレンダー等も今年は中止する顧客が出てきており、明るい話はなかなか聞けない。
出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・実印や銀行印で店頭に来る客数はあまり変わらないが、取引のある法人関係では、店頭もあるが主には外からの注文で、8月は設立が2件だけであった。とにかく会社関係、法人が動いていないことを本当に実感している。	
プラスチック製品製造業（経営者）	・あてにしていた新企画が、円高や海外生産へのシフトによりすべて流れてしまったため、秋口から年末にかけて機械の稼働率は50%程度しか見込めず、見通しは厳しい。	

	金属製品製造業（経営者）	・電気料金の値上げと消費税率のアップなどによって、発注大手企業が海外に進出しており、営業活動に行っても、国内の仕事が少なくなっている。これからは下請企業といえども、海外で営業活動し、精度の高い製品の注文を取ってくる、またはそのような仕事を日本へ戻すような活動をしなければならない。	
	金属製品製造業（経営者）	・製造業にとって頼みの綱であった海外向け輸出も、中国、東南アジア向けが激減し、欧州の信用不安によって欧州向けも減っているうえに円高が続いているため、生産量が増えることが考えられない。	
	輸送用機械器具製造業（経営者）	・需要が減るとは考えられない。選挙がらみの経済政策でとても景気が良くなるような状況には至っていない。	
	通信業（広報担当）	・今後、外需の低迷による経済状況の悪化が見込まれる。	
	金融業（役員）	・海外情勢や国内の政治、外交問題等、どちらに転ぶか分からない状況がしばらく続くと思われるため、積極的な投資活動や事業展開は差し控えている企業が多い。	
	金融業（支店長）	・各客先では、やはり今後の売上の見直しはついておらず、税金が上がる前提で少し消費が鈍っている所も出てきている。また、来年3月に中小企業金融円滑化法が終わってしまうため、それまでに銀行は整理するということを含め、徐々に悪くなっていく。	
	広告代理店（営業担当）	・クライアントの広告宣伝費の見直しがシビアである。コストパフォーマンスが悪いもの、また結果が乏しいものに関してきっちり検証するため、広告代理店としては正直なところ厳しい。	
	経営コンサルタント	・消費税の問題など先行きの悪い材料はあっても、良い材料があまりにもなさすぎるために、経営環境としては、じわじわと悪くなる。	
	その他サービス業〔廃棄物処理〕（経営者）	・受注価格の値下げ競争に加え、次工程の取引先からは値上げ要請が続いており、更なる利益圧迫が予想される。	
悪くなる	精密機械器具製造業（経営者）	・大手メーカーの9月中間決算以降が非常に暗く、20%近く受注量が落ち込むと言われている。自動車ではエコカー補助金、家電関係ではエコポイントと相次ぐ廃止があり、増税がどこまで影響するのか見通しがつかない。	
	建設業（経営者）	・今は良くても来年は駄目など、先行き不安がかなり重要視されている。工業系でも今は良いが、3か月後は仕事がない。	
	建設業（経営者）	・消費税増税前の駆け込みはあるかもしれないが、その後を考えると長期的には悪くなる。	
	輸送業（総務担当）	・荷主メーカーが夏休み明けから若干の増産傾向であり、期待している。しかし、軽油単価が毎月徐々に上がっており、今後も値上がりの傾向にあるため、仕事量が増えても経費で食われてしまう。	
	その他サービス業〔ソフト開発〕（経営者）	・円高や少子高齢化が大きな問題となっている。	
雇用関連 (南関東)	良くなる	—	
	やや良くなる	求人情報誌製作会社（編集者）	・販売職、ルートセールス系の募集が増えてきている。就職内定率は、少し回復する。
		求人情報誌製作会社（営業担当）	・年末に向けての求人案件相談が増えつつある。前年度よりもタイミング早い。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・9、10月は相当伸びるという予測があるが、11月は相当の落ち込みがあるため、その分9、10月に貯金をしておかなければならない。11月の落ち込みを極力少なくするように努力する。
	変わらない	人材派遣会社（社員）	・中国、韓国との領土問題がこれ以上陰悪化すると、中国進出企業が若干、他へ移動することで悪影響が出るかもしれない。さらに総選挙で大きく変わらないと、景気に良い影響がないのではないかと多くの人が言っている。
人材派遣会社（営業担当）		・企業の景況感は回復するだろうが、個人消費が伸びるほど雇用が増えるかという点、雇用形態が有期職が多い印象から、大きな改善は見込めない。	
人材派遣会社（支店長）		・今月より改善するような明るい材料が見当たらない。	
人材派遣会社（営業担当）		・募集数は増加しているが他社と競合するため、終了人数と新規採用人数が同数程度で推移しており、しばらくは同じような状態が続くようである。	
求人情報誌製作会社（営業担当）		・今月は例年と比べて極度に悪くはないが、秋からの新規事業やイベントなどに伴うパートや短期アルバイトなどの求人問い合わせがある時期にもかかわらず、出足が鈍いようである。この動きは、ここ数か月の企業の低調感と同様である。	

	求人情報誌製作会社 (営業担当)	・今は若干増えているが、お盆明けという時期的なものもあるため、まだどちらともいえない。
	職業安定所 (所長)	・新規求人数は増加基調で推移すると思うが、円高等の景気下振れ要素が複数あることから、景気が良い方向に向かっているとの判断はしづらい。
	職業安定所 (職員)	・求人は増えているが、一部の会社から電気料金の値上げが長期になれば国内と海外の操業を比較して、国外への移転を考えているという会社も出てる。そのようなことも含めて、変わらない。
	職業安定所 (職員)	・IT、介護、サービス業の人手不足の求人は増加しているものの、採用について様子見の中小零細企業も多い。
	職業安定所 (職員)	・周囲の状況に変化が出ていない。
	職業安定所 (職員)	・非製造業での求人は増加しているが、エコカー補助金の打ち切りにより車の消費が減少することが予想される。そういったことから、景気への心配がある。
	職業安定所 (職員)	・管内企業から、事業規模縮小に伴う希望退職の募集や、派遣労働者の雇止め等の情報が多くなってきた。今後、大手電機メーカーの人員削減に続き、下請企業や取引先の動向が懸念され、やや悪いに近い変わらないが実感である。
	民間職業紹介機関 (経営者)	・求職者の高齢化がみられる反面、30前半の登録が減っている。マッチングが難しい状況は続く。
	民間職業紹介機関 (経営者)	・エネルギー状況の不安定化や高齢化などに伴う購買需要の低迷、また円高定着化による輸出から現地化などにより、国内の経済体質も変化の時代となっていく。
	民間職業紹介機関 (職員)	・グローバル情勢に大きな変動要素がない限りは、今後2、3か月は内需は好調であるため、変化はしない。
	民間職業紹介機関 (職員)	・求人数等に大きな変化はない。年始以降については、採用ニーズが少し減退しそうな兆候が感じられる。
	学校 [専修学校] (就職担当)	・採用計画の確認作業を進めているが、新規募集や採用数拡大などの回答は少なく、前年並みの求人獲得数になる予想である。
	学校 [短期大学] (就職担当)	・企業訪問をして求人依頼しているが、採用の見送りが多く、欠員補充、中途採用だけとのことである。
やや悪くなる	人材派遣会社 (社員)	・10月の労働者派遣法改正法の施行に伴い、日雇い労働者の採用が難しくなることが予想され、企業からの依頼に対応できなくなる可能性がある。
	人材派遣会社 (営業担当)	・10月の労働者派遣法改正法の施行で、1か月未満の派遣が原則禁止となるため、人材ビジネスにとってマイナスの影響があり、景気低迷につながる。
	人材派遣会社 (支店長)	・政治の不安定や、韓国、中国、ロシア、アメリカといった日本を取り巻く環境を考えると、景気は徐々に下向きになっていきそうである。
	求人情報誌製作会社 (広報担当)	・日本の企業全体で元気がない状態がまん延しているようである。TPPの問題等も含め、国内の産業が活性化する要素が感じられない。
悪くなる	—	—